

# MUSEUM NEWS

## 福島県立美術館

FUKUSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

開催中 特集展示

「絵画の臨界点  
—若松光一郎、鎌田正蔵のフォルム—」

2026年1月10日(土) - 2月1日(日)



若松光一郎《時空・薫風》1993年



鎌田正蔵《貴装(A)》1976年

## 開館スケジュール (○印=休館日)

12月

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	6
7	⑧	9	10	11	12	13
14	⑮	⑯	⑰	⑱	⑳	㉑
㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	
㉘	㉙	㉚	㉛			

1月

日	月	火	水	木	金	土
				①	②	③
④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	10
11	12	⑬	14	15	16	17
18	⑱	20	21	22	23	24
25	⑯	27	28	29	30	31

## 利用案内

開館時間 9時30分 - 17時(最終入館は16時30分)

休館日 月曜日(祝祭日の場合は開館し、翌平日休館) / 祝祭日の翌日 / 臨時休館および年末年始(12月16日~1月9日)

観覧料 一般・大学生360円(20名以上の団体は280円)、高校生以下無料 ※企画展観覧料は展示により異なります。〈企画展〉欄をご覧ください。 ※企画展料金で常設展も観覧できます。 ※こどもの日、県民の日(8/21)、敬老の日、文化の日は常設展が無料になります。 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は、常設展・企画展ともに無料です。(手帳をご提示ください)付き添いの方1名も無料となります。

## 交通案内

〈JR福島駅・東口より〉

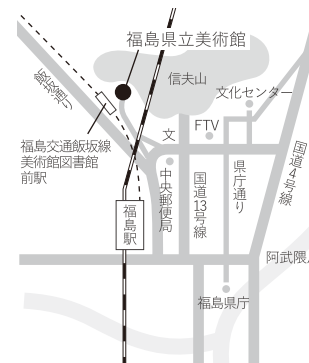
■電車 福島交通飯坂線「美術館図書館前駅」下車徒歩2分

■バス 9番乗場より福島交通バス / 市内循環ももりん2コース「県立美術館入口」下車徒歩3分

■タクシー 約5分

〈自家用車の場合〉

東北自動車道・福島飯坂ICより市街地方面へ約15分



## 福島県立美術館

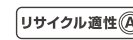
〒960-8003

福島市森合字西養山1番地

TEL 024-531-5511

FAX 024-531-0447

https://art-museum.fcs.ed.jp



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

## 「触って、話して、見て楽しむ美術鑑賞ワークショップ」

見える人、見えない人一緒に、触ることや話すことを通じて、当館の彫刻作品を鑑賞します。

今回は、郡山市在住の彫刻家、黒沼さんの木彫作品など、県内ゆかりの作家作品を取り上げます。

作品に触れたり、作家ご本人のお話を聞いたりしながら作品を楽しみましょう。(午前、午後とも同じ内容です。どちらかの時間帯でお申し込みください。)

日時：12月14日(日)

①10時30分-12時 ②14時-15時30分

講師：黒沼 令氏 (彫刻家)

対象：各回高校生以上の視覚障がい者5名程度、  
 晴眼者3名程度

会場：2階常設展示室 参加費：無料

【申し込み締め切り：11月28日(金) ※先着順】

## 創作プログラムのご案内 受講生を募集します

### コラージュを生かした作品づくり

絵画制作の中でコラージュ技法を生かし、手描き制作だけでは味わえない面白い作品作りを楽しみます。

時には、表現を手助けし、また表現の幅を広げて思いもかけない面白い作品が出来上がったりします。

貼り付ける材料は和紙や包装紙、布切れ等なんでもOKです。オリジナルの絵画を制作してみましょう。

日時：1月17日(土)、18日(日) 10時-15時

※お昼休憩をはさみます ※2日間

講師：鷲 邦明氏 (画家、当館収蔵作家)

対象：高校生以上10名

会場：美術館実習室 材料費：1,500円

【申し込み締め切り：1月7日(水) ※先着順】

お申込み  
お問合せ

県立美術館 教育普及係

TEL 024-531-5511

美術館総合受付、美術館ホームページからもお申し込みいただけます。

開催中 エントランスホール展示

## 美術館への年賀状展2026

【募集期間】2026年1月4日(日)必着

【展示期間】2026年1月12日(月・祝)-31日(土)

福島県立美術館では小学生・中学生・高校生からの版画やイラスト、はり絵などで作った「手作り年賀状」を募集します。この機会に手作り年賀状を作ってみませんか？賞の授与は行いませんが、届いた年賀状はすべて美術館エントランスホールに展示します。みなさんの力作をお待ちしています！

### ◆募集作品

市販のハガキ、または同じサイズ(14.8×10cm)の用紙に年賀状のために本人が制作した作品1人1点。表現技法や画面の縦横は自由です。

### ◆送付方法

あて名面に本人の「郵便番号・住所・氏名・学校名・学年」を明記の上、下記のあて先まで送付してください。学校・学年・クラス・部活などのグループ単位での応募も大歓迎。美術館に直接お届け頂いても大丈夫です。

あて先とお問い合わせ

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地  
福島県立美術館「美術館への年賀状展」係  
電話024-531-5511

### ◆年賀状づくりコーナー

11月26日(水)～12月14日(日)の期間、美術館のエントランスホールに年賀状用スタンプコーナーを設置します。持参したはがきにスタンプを押して年賀状を作ることができます。



2025年度の展示の様子

同時開催 特集展示

## 絵画の臨界点

一若松光一郎、鎌田正蔵のフォルムー

2026年1月10日(土)-2月1日(日)

本展では、福島の洋画界を牽引した、若松光一郎(1914-1995、いわき市出身)と鎌田正蔵(1913-1999、三春町ゆかり)の作品を当館のコレクションよりご紹介いたします。

ともに東京美術学校油画科での同級生で、若松はいわき市を拠点に、鎌田は郡山市を拠点に活動しました。グループ「貌」や「同人会」などの若手芸術家集団でも一緒に活動し、扱うモチーフや素材を変化させながら、常に新しい絵画表現を追求していきました。戦後、若松はコラージュ技法を取り入れた制作を始め、鎌田は具象と抽象のあいだを揺れ動きながら、ユーモアのある独自の視点で様々なフォルムを作り出します。

タイトルにある臨界点とは、気体と液体の境界がなくなり、両者が区別できなくなる物理的状態の限界点を示す化学用語から引用しました。若松と鎌田の創作活動は、作風の変遷を経て、具象と抽象が入り混じった、臨界点としての作品に結実していきます。

若松と鎌田の交流を起点に、同時代を生きた二人の作家について、時代的な背景や関連作家の作品もふまえながら、画業の変遷を辿ります。



若松光一郎《出漁前》1960年



鎌田正蔵《春》1952年

休館日：月曜日(月曜が祝日の場合は翌日)  
観覧料：一般・大学生 360(280)円／高校生以下無料  
※本展は常設展料金でご覧いただけます。  
※( )内は20名以上の団体料金

### 〈関連イベント〉

担当学芸員によるギャラリートーク

日時：1月10日(土)、1月24日(土) 各日14時-15時  
会場：企画展示室 ※観覧券購入のうえ、展示室入口にお集まりください。

同時開催 教育普及展示

## おとなりアーティスト 2025

学校連携共同ワークショップ参加校作品展

2026年1月17日(土)-2月1日(日)

学校連携共同ワークショップとは福島県ゆかりの作家、佐藤忠博(彫刻家)・FRIDAY SCREEN(アートユニット)を講師に招き、学校で子どもたちを対象としたワークショップを開催するアートプログラムです。

本展覧会では、県内8つの学校等で開催した子どもたち全員の作品を展示します。子どもたち自身もアーティストとなって生み出した創意工夫あふれる作品をご覧ください。

休館日：月曜日

会場：美術館企画展示室B

観覧料：無料



常設展示 福島県立美術館のコレクション

## 第Ⅳ期コレクション展

2026年1月10日(土)-3月31日(火)

〈主な展示内容〉

「白樺派」と大正期洋画一ゴッホに憧れた日本人画家たち／東日本大震災15年一作家たちのまなざし／アメリカで活動した日本人画家たち／新収蔵・金子コレクションの現代版画



関根正二《真田吉之助夫妻像》1918年